



TEL 076-6151-5555  
FAX 076-6151-5500  
E-mail info@krisshouten.com

平成十八年三月二十日  
〒九三二〇八〇  
高岡市問屋町四十  
有限会社 沖商店発  
2015.3.21

いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょうか』ということに関し、皆様と一緒に考え意見を交して勉強したい。そんな思いで本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚の無いご意見をお寄せくださいませ。

一 新学期に向けて

今冬季は本当に降雪の多い年になりました。昨年十二月十四日から降った雪は正月の五日まで、元日を除いて振り続けました。しかもその降り様は激しく、雪と雪の間がないくらいに落ちてきて、本当に「見る見るうちに」積りました。今回の豪雪を昭和三八年の「三八豪雪」昭和五六年の「五六豪雪」と並べて「平成一七豪雪」と称するのだそうです。

その豪雪も二月末〜三月始にかけてのぽかぽか天気に恵まれ、道路や駐車場の片隅によせられていた雪の山もすっかりなくなり、いよいよ春の訪れと待ち構えていましたのに、寒波の襲来で昨日・今日とまた降雪を見、冬への逆戻りの感があります。但、さすがに今頃になると、朝晩は二〜三センチの積雪を見るもの、日中には溶けて邪魔になるほどのことはありません。「三寒四温」と申しますが、この後は徐々に春が近づいて来ることでしょう。雪国の春は雪の積もらない暖かい地方の春とは一味違い、待ち遠しく、嬉しく、太陽のありがたさは格別のものです。

その春に向けて日本に於ける一番の全国的行事は、新年度・新学期でしょう。三歳児の幼稚園・保育園への入園、六歳児は「ピッカピッカの一年生」、中学校への進学、高校・大学への受験と進学、みんな夫々に夢と希望をもって新たな環境に入っていきます。すべて一人前の大人になるための修行ですが、全員事故なく落後なく成育して欲しいものと願われてなりません。ところで、私どもでは、この幼稚園・保育園の園児

服、小学生の通学服、中学・高校生用制服を製造販売しています。本号は私どもの宣伝を兼ねて、学生服業界の現状をご紹介します。

明治政府が義務教育制を導入した当時は、小学校には学生服はありませんでした。みんな木綿の着物を着て通いました。何時のころからか定かではありませんが男子は軍隊で用いられていた詰襟の学生服が常識になりました。第二次大戦後、小学校ではイートン型上衣（元タイギリスのイートン校の制服で、折襟の幅が広く、丈は短くウエストまでの男子用上衣）の改造型が普及し今日に至っています。中学校では、男子は黒の詰襟、女子は紺のセーラー型がほとんどで今日まで続いています。高校では男子は詰襟・女子はスーツから、二十〜三十年前ころにペアのブレザー型上衣へのモデルチェンジが流行し現在に至っています。

販売方法は小学生・中学生は校下の衣料小売店・地方のデパート、高校は私どものような製造販売している卸問屋が直接もしくは校下の衣料小売店・デパートを通じて販売という形になっています。第二次大戦後まもなく、各衣料小売店・デパートとも競争して販売していましたが、三十〜四十年前から衣料小売店が「衣料組合」なるものを結成し、購入先問屋も一つに絞って仕入れるようになり競争をしなくなりしました。それが今日まで続いていて、海外からの価格の安い物が出回る中、学生服だけが突出して高い価格を維持しています。

私ども現在の沖商店は、昭和四十二年に合併した卸問屋に、小売店への地方卸部門を移行して以来、会社・工場・事業所・学校・官公庁など各種団体への直接訪問販売を専門に営業展開してまいりました。会社・工場・官公庁などは、作業服をはじめ、制服・ユニフォームの販売、教育関係では、保育園・小学校などのスモック、中学・高校の女子のセーラー服・スーツを製造販売してまいりました。そのうち取引先の会社から「従業員の厚生の一環として学生服を安く斡旋してくれないか」という要請を受け、現在のメーカー「日本被服㈱」と提携し商売気抜きで男女学生服全般の取り扱い斡旋を始めました（三十〜四十年前）。バブル時期には小売店の悪口・中傷もあり（現在でもですが）、なかなか広まりませんでした。ユニクロの出現により「価格の安いもの必ずしも品物が悪いわけではない」という概念が広まり（私どもではこれをユニクロ効果と言

っています）、バブル崩壊後の日本経済の不況も相まって、近年爆発的に販売数を拡大しています。一方、衣料小売店は皆様にご存知の通り、流通機構の変化、後継者不足などから廃業が進み、その数が激減しています（これは私たち問屋も同様ですが）。「衣料組合」と言いながら校下に一軒しかない、あるいは甚だしい校下では一軒もありません。それで私どもでは、もっと多くの会社・事業所の労働組合・生活協同組合など、いろんな組合・団体に広く呼びかけて提携を結び、良質の品を安価でお届けする活動を広げて行きたいと思っています。本通信「愛読者の皆様方には、折がありましたらお子様をお持ちの方に、どうぞ、この由を「紹介・宣伝賜りますようお願い申し上げます。今年度はもう遅いと思いますが、来年度のために今年度のパンフレットを同封しましたので、参考までにご覧になり他社と比べて見てください。

二 保護者が大切に地元業者が大切に

前項の学生服販売拡大に伴い、その活動地域も拡大します。提携できた組合の地域中学校へ学生服の仕様を訊きに行きます。大概の学校さんでは親切丁寧に教えて頂きますが、学校さんによっては教えて頂けません。その理由は「永年その地方の小売店が販売して来たものを、新たな者が販売を始める」とに抵抗を感じるからだと思えます。

「既得権」とまでは言われませんが、争いを避けたいと言う思いは充分に察しられます。甚だしきは、学校当局がどうなっているかしっかりと把握していただく。そして、その地域の小売店に遠慮して仕様を教えてください。地元の組合・団体がその組合員に斡旋・販売してはいけなと言いますか」と問うと「そんなことはありません。販売してはいけないとは言いません」と答えます。「それなら仕様をきちつと教えてください」と言っても「ああだこうだ」とはぐらかします。

価格は、四〜五万円のあたまで一万円以上も安いのに、それを訴えても「品質が違う」ぐらいに思っているのでしょうか、当方に意地悪します。それで余り甚だしい時は「あなた、保護者が大切なのか、地元業者が大切なのか」と迫ります。それでも頑張り続ける時は当該市町村の教育委員会に訴えに行きます。少子高齢化社会の中で、数少ない子どもに対する親御さんの愛情はひとしおです。その親御さんの愛

情に胡座をかき、服を高く売るのは許せません。その味方をするのも許せません。小売店の嘘の雑言・宣伝も許せません。

三 パラリンピックの素晴らしさ

先日のトリノオリンピックに引き続き、パラリンピックが開催されています。『パラリンピック』を小学館「大辞泉」で練りました。【Paralympics】国際身体障害者スポーツ大会。一九六〇年以来四年に一回、オリンピック開催地で行われる。脊髄損傷者だけが参加する。国際ストークマンデビル競技会、国際パラプレジクスオリンピック、Paraplegia と Olympics との合成語。と記してありました。

発祥は、イギリスのある病院で、第二次世界大戦で負傷した将兵のリハビリを兼ねて、考案されたスポーツ競技だった。それがヨーロッパに広がりさらに世界的に広がって一九六〇年に正式に世界大会として、四年に一回、オリンピック開催地で行われることになったとのことです。

観戦して何より感動するのは、何と言っても不自由な体でもここまで頑張られると言う所でしょう。オリンピック出場選手は、各々の競技において人間業の限界に挑戦され、勿論、そこには素晴らしい感動があるわけですが、パラリンピックにはオリンピックにはない感動を覚えます。解説者の中には「へたな同情はしないで、オリンピックを観戦するのと同じ気持ちで見てください」と言っておられた方がいらつしやいましたが、私はそうではなく、やはり普通の体でない人が、そのハンディーを乗り越えて頑張っている姿こそ、同じハンディーを持つ人々に勇気を与え、私たち五体満足のものに叱咤激励を与えるものだと思います。

手が不自由な方で、足の指で筆を挿んで素晴らしい絵を描いていた人、また口に筆を銜えて素晴らしい絵を描いていた人の報道がされていたのを思い出して、この他にも色々なハンディーを乗り越えて頑張っている方々の姿を見るにつけ、思い出すにつけ、私には、この方々は菩薩が姿を変えて私たちを指導・教化してくださっているのだと思われなりません。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘  
個人メール E-mail 062525@ais-shouten.com  
（にこにこ通信への意見をはじめ個人的な連絡は、個人メールへ）